

令和8年度採用

岐阜県公立学校教員採用選考試験 第1次選考試験

教科専門

高等学校 福祉

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
|------|--|

試験時間

10時30分～11時40分（70分）

**【注意事項】**

- 1 放送で指示があるまで、この問題冊子に手を触れないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は、マークシート記入要領に従って記入してください。
- 3 問題の印刷が不鮮明な場合には挙手をして、試験官が来るのを待ってください。
- 4 終了後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。この問題冊子は各自持ち帰ってください。

岐阜県では、平成 20 年から、「障害」を「障がい」と表記することとしているが、国や県が定める法令に規定されている用語、名称等や団体、機関等の固有名称は「障害」の表記を用いることとしているため、本試験においては一部「障害」の表記のままで出題している。

- (1) 「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 福祉編（平成 30 年 7 月文部科学省 第 2 章 福祉科の各科目 第 4 節 生活支援技術 第 2 内容とその取扱い）」に記載されている内容について、(A) ～ (E) に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 1 1。

この科目は、目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、(1)生活支援の理解、(2)自立に向けた生活支援、(3)緊急時・( A ) の支援、(4) ( B ) の支援、(5)医療的ケアの五つの指導項目で、4～12 単位程度履修されることを想定して内容を構成している。

(内容を取り扱う際の配慮事項)

ア [指導項目] の(1)から(5)までについては、生徒や地域の実態、学科の特色に応じて、いずれかを選択して扱うことができること。


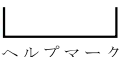



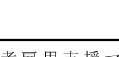

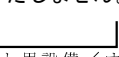
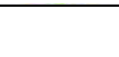
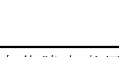
イ 自立生活を人間の尊厳、安全・安楽、協働などの視点から捉え、「( C )」と関連付けて、生活の質の向上やサービス利用者の状態に合った自立生活の支援の必要性について理解できるよう留意して指導すること。

ウ 実践的・( D ) な学習活動を通して、サービス利用者の自立生活の支援に関する専門的な学習への動機付けを図るなど、専門職としての生徒の意識が高まるよう工夫して指導すること。

エ [指導項目] の(2)から(5)までについては、自立生活の支援に活用される( E ) や介護ロボットについても理解できるよう留意して指導すること。

|   | ( A ) | ( B ) | ( C )      | ( D ) | ( E ) |
|---|-------|-------|------------|-------|-------|
| ① | 災害時   | 終末期   | こころとからだの理解 | 体験的   | 福祉用具  |
| ② | 非常時   | 回復期   | こころとからだの理解 | 体験的   | 人工知能  |
| ③ | 災害時   | 回復期   | こころとからだの理解 | 対話的   | 福祉用具  |
| ④ | 非常時   | 終末期   | 介護過程       | 対話的   | 福祉用具  |
| ⑤ | 災害時   | 終末期   | 介護過程       | 対話的   | 人工知能  |

(2) 公共施設や商業施設などで見かけるマークについて、(ア)～(オ)の記述が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組合せの最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は12。

| マーク   | 説明   |
|---|--|
| (ア) <br>著作権保護の観点により、掲載いたしません。<br><br>ヘルプマーク               | 周囲の援助や配慮を必要としていることを周りに伝えるためのマークで、外見だけでは支援や配慮が必要だとわからない人のみが利用できる。   |
| (イ) <br>著作権保護の観点により、掲載いたしません。<br><br>障害者のための国際シンボルマーク     | 障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマーク。車いす使用者や肢体不自由者のみを対象としている。   |
| (ウ) <br>著作権保護の観点により、掲載いたしません。<br><br>障害者雇用支援マーク          | 在宅障がい者を含む障がい者の就労支援を認めた企業・団体に付与される認証マーク。  |
| (エ) <br>著作権保護の観点により、掲載いたしません。<br><br>オストメイト用設備／オストメイト | 人工肛門・人工 <sup>ぼうこう</sup> 膀胱を造設している人（オストメイト）のための設備があること及びオストメイトであることを表している。                                  |
| (オ) <br>著作権保護の観点により、掲載いたしません。<br><br>身体障害者標識          | 聴覚障がいであることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示するマーク。危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定により罰せられる。 |

|   | (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ×   | ○   | ×   | ○   | ×   |
| ② | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   |
| ③ | ○   | ×   | ○   | ×   | ×   |
| ④ | ×   | ×   | ○   | ○   | ×   |
| ⑤ | ○   | ○   | ×   | ×   | ○   |
| ⑥ | ×   | ×   | ○   | ×   | ○   |

(3) 「介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて（平成29年10月厚生労働省）」による「求められる介護福祉士像」について、(ア)～(オ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

- 1 尊厳と自立を支えるケアを実践する
  - 2 専門職として自律的に（ア）の展開ができる
  - 3 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
  - 4 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等の（イ）を重視した支援ができる
  - 5 QOL（生活の質）の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、（ウ）まで、対象者の状態の変化に対応できる
  - 6 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる
  - 7 関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する
  - 8 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な（エ）・記述ができる
  - 9 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
  - 10 介護職の中で中核的な役割を担う
- 1～10に加え、高い（オ）の保持

|   | (ア)  | (イ)     | (ウ)   | (エ) | (オ) |
|---|------|---------|-------|-----|-----|
| ① | 支援技術 | エンパワメント | 医療的ケア | 説明  | 専門性 |
| ② | 介護過程 | エンパワメント | 医療的ケア | 説明  | 倫理性 |
| ③ | 介護過程 | エンパワメント | 看取り   | 記録  | 倫理性 |
| ④ | 介護過程 | 願い      | 医療的ケア | 記録  | 専門性 |
| ⑤ | 支援技術 | 願い      | 看取り   | 記録  | 専門性 |

(4)「社会福祉士及び介護福祉士法」第4章 社会福祉士及び介護福祉士の義務等に関する記述として**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は14。

① 誠実義務（第44条の2）

社会福祉士及び介護福祉士は、その担当する者が個人の尊厳を保持し、自立した日常生活を営むことができるよう、常にその者の立場に立って、誠実にその業務を行わなければならない。

② 信用失墜行為の禁止（第45条）

社会福祉士又は介護福祉士は、社会福祉士又は介護福祉士の信用を傷つけるような行為をしてはならない。

③ 連携（第47条第2項）

介護福祉士は、その業務を行うに当たっては、その担当する者に、認知症（介護保険法（平成九年法律第百二十三号）第五条の二第一項に規定する認知症をいう。）であること等の心身の状況その他の状況に応じて、福祉サービス等が総合的かつ適切に提供されるよう、福祉サービス関係者等との連携を保たなければならない。

④ 資質向上の責務（第47条の2）

社会福祉士又は介護福祉士は、社会福祉及び介護を取り巻く環境の変化による業務の内容の変化に適応するため、相談援助又は介護等に関する知識及び技能の向上に努めなければならない。

⑤ 名称の使用制限（第48条第2項）

介護福祉士の資格は、業務独占の国家資格であり、介護福祉士でない者は、介護福祉士という名称を使用してはならない。

(5) 介護現場における防災対策に関する記述として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

- ① 福祉施設は、防災計画を策定し、備蓄品の整備や防災マニュアルの作成を行えば、利用者への負荷を考慮し防災訓練は実施しなくてもよい。
- ② 指定福祉避難所とは、受入対象者を特定し、特定された要配慮者やその家族のみが避難できる施設である。
- ③ 福祉施設は、災害対策基本法にもとづき、都道府県知事から福祉避難所のひとつとして指定を受け、避難者を受け入れる場合がある。
- ④ 都道府県は、災害対策基本法において個別避難計画の作成を努力義務としている。
- ⑤ 避難行動要支援者とは、支援を要する要介護高齢者や障がいを持つ者などで、災害時に自力での避難が可能な者をさす。

(6) 次の文は、社会福祉の発展に寄与した人物について述べたものである。その人物名をア～ウから、その人物名と最も関係の深いものをA～Cから選び、その組合せとして最も適切なものを次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は16。

自立生活運動の先駆者。重度の身体障がいを持ちながらも、カリフォルニア大学に入学し、障がい者の権利や自己決定を主張した。その運動は全米、さらには世界中に影響を与えた。

ア エド・ロバーツ  
 イ サミュエル・バーネット  
 ウ ベンクト・ニリエ

A ノーマライゼーション  
 B セツルメント運動  
 C 自立生活センター

|   |   |   |
|---|---|---|
| ① | ア | A |
| ② | イ | B |
| ③ | ウ | C |
| ④ | ア | C |
| ⑤ | イ | A |
| ⑥ | ウ | B |

(7) 次の図は、主要国における高齢化率(65歳以上の人口が総人口に占める割合)が7%から14%へ達するまでの所要年数を表したものである。(ア)～(オ)に当てはまる国名の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 日本     | 著作権保護の観点により、掲載いたしません。 |
| シンガポール |                       |
| (ア)    |                       |
| (イ)    |                       |
| ドイツ    |                       |
| イギリス   |                       |
| (ウ)    |                       |
| (エ)    |                       |
| (オ)    |                       |

出典：高齢化の国際的動向 | 令和6年版高齢社会白書（全体版） 内閣府

|   | (ア) | (イ) | (ウ)  | (エ)    | (オ)    |
|---|-----|-----|------|--------|--------|
| ① | 中国  | 韓国  | フランス | アメリカ   | スウェーデン |
| ② | 中国  | 韓国  | イタリア | アメリカ   | スウェーデン |
| ③ | 中国  | 韓国  | アメリカ | スウェーデン | フランス   |
| ④ | 韓国  | 中国  | アメリカ | スウェーデン | フランス   |
| ⑤ | 韓国  | 中国  | イタリア | フランス   | スウェーデン |

(8) 日常生活自立支援事業（厚生労働省）に関する記述のうち、**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

- ① 認知症高齢者，知的障がい者，精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう，福祉サービスの利用援助等を行う。
- ② 本事業の利用者との契約に基づき事業が行われる。
- ③ 援助の内容には預金の払い戻しの手続き等利用者の日常生活費の管理（日常的金銭管理）も含まれる。
- ④ 実施主体は，都道府県・指定都市社会福祉協議会である。
- ⑤ 利用者が負担する利用料の負担額は全国一律である。

(9) 高次脳機能障がいの主症状に関する記述のうち、**適切でないもの**を次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

- ① 失語症は，言葉をつくって表出し，理解することができないため，他人とのコミュニケーションに障がいが生じる。
- ② 注意障がいは，二つのことを同時にしようとすると混乱したり，麻痺側の空間にある物を見落とししたりしてしまう（半側空間無視）。
- ③ 遂行機能障がいは，ある行動の計画を立てることができず，計画を立てる前に実行に移してしまったり，行動を起こしても最後までできなかつたりする。
- ④ 社会的行動障がいは，人に指示をしてもらわないと何もできなかつたり，約束の時間に間に合わなかつたりする。
- ⑤ 記憶障がいは，主に発症後の新しいものごとの記憶が困難になる（前向性健忘）。また，忘れたことを補うため話をつくってしまう（作話）。

(10) 受容と共感について、(ア)～(オ)の記述が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組合せの最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は20。

(ア) 共感とは、相手のことを一方的にかわいそうだと思い、相手に対して哀れみを感じることである。

(イ) オープンエンド・クエスションは、「はい」「いいえ」や、ひとことで単純な返答ができる質問である。

(ウ) アクティブ・リスニングとは、時に質問を交え、相手をよく理解したい、話をもっと聞かせてほしいというメッセージを積極的に伝えながら聴く技法である。

(エ) エンパワメントとは、利用者の有する長所、力、強さに着目し、利用者の主体的な取り組みが促進されるよう支援することである。

(オ) 予備的共感とは、利用者と直接対面する前から、事前に資料として得られる利用者の基本情報をもとに、利用者について少しでも理解しようと試みることである。

|   | (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ○   | ×   | ×   | ○   | ×   |
| ② | ×   | ○   | ×   | ×   | ○   |
| ③ | ×   | ×   | ○   | ○   | ○   |
| ④ | ○   | ○   | ×   | ×   | ○   |
| ⑤ | ○   | ×   | ○   | ○   | ×   |
| ⑥ | ×   | ○   | ○   | ×   | ×   |

(11) アメリカの心理学者マズロー (Maslow, A. H) の人間の基本的欲求の段階で成長欲求に該当するものとして最も適切なものを, 次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

- ① 承認の欲求
- ② 社会的欲求
- ③ 生理的欲求
- ④ 自己実現の欲求
- ⑤ 安全の欲求

(12) パルスオキシメーターでの測定に関する記述のうち最も適切なものを, 次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。

- ① 体温と呼吸回数を測定できる。
- ② 静脈血酸素飽和度を測定できる。
- ③ 爪に濃いマニキュアをつけている場合でも正確に測定できる。
- ④ 標準値は96～99%である。
- ⑤ 航空機の中では測定できない。

(13) 麻痺のある場合の杖歩行の支援について、(ア)～(オ)の記述が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は23。

- (ア) T字杖の長さは、グリップの高さが大腿骨大転子に合うように調節する。
- (イ) ロフストランドクラッチは、グリップを握る力が弱い人でも使いやすい。
- (ウ) 杖歩行を支援する介護従事者は、平地では麻痺側やや前方に位置する。
- (エ) 階段を上る際は、杖→麻痺のある側の足→麻痺のない側の足の順で上る。
- (オ) 階段を下る際は、杖→麻痺のない側の足→麻痺のある側の足の順で下る。

|   | (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ×   | ○   | ○   | ×   | ×   |
| ② | ○   | ×   | ×   | ○   | ○   |
| ③ | ○   | ×   | ○   | ×   | ○   |
| ④ | ×   | ×   | ○   | ○   | ○   |
| ⑤ | ○   | ○   | ×   | ×   | ×   |
| ⑥ | ×   | ○   | ×   | ○   | ×   |

(14) ICF（国際生活機能分類）における環境因子を表す情報として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

- ① アルツハイマー型認知症の診断を受けている。
- ② 歌の会に参加している。
- ③ 朝食と夕食は自炊している。
- ④ ピアノの先生をしていた。
- ⑤ グループホームに入所している。

(15) 言語障がいについて、(ア)～(オ)の記述が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組合せの最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は25。

- (ア) 言語障がいは、「構音障がい」と「失語症」の大きく2つに分けられる。
- (イ) 話すことや聞くことをサポートする専門職として、手話通訳士がいる。
- (ウ) 言語障がいの内容に応じて、できない部分、苦手な部分を理解し、その部分を補う発信の工夫、受信の工夫が重要である。
- (エ) 身体障害者障害程度等級表では、音声機能、言語機能、または咀嚼機能の喪失は5級に該当する。
- (オ) 失語症のある人とのコミュニケーションは、閉じられた質問を活用する。

|   | (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ○   | ○   | ×   | ○   | ×   |
| ② | ○   | ×   | ○   | ×   | ○   |
| ③ | ×   | ×   | ○   | ○   | ○   |
| ④ | ×   | ○   | ×   | ×   | ○   |
| ⑤ | ○   | ×   | ○   | ×   | ×   |
| ⑥ | ×   | ○   | ×   | ○   | ×   |

(16) 高齢者の健康の維持・増進に関する記述として**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

- ① サルコペニアとは、骨格筋量の低下と筋力もしくは身体機能が低下している状態である。主な要因は、加齢、活動不足や疾患、栄養不良である。
- ② ロコモティブシンドロームとは、運動器の障がいのために立ったり歩いたりするための身体能力が低下した状態である。
- ③ フレイルとは、年をとって体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなり、介護が必要となった状態である。
- ④ ポリファーマシーとは、多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態である。
- ⑤ 低栄養とは、エネルギーとたんぱく質が欠乏し、健康な体を維持するための栄養素が足りない状態のことである。

(17) 対人援助におけるコミュニケーション技術に関する記述のうち**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

- ① ペース合わせとは、相手の話し方や心理状態、呼吸などに合わせ、表情や動作を相手と同じように行うことで、相手に安心感を与えると同時に相手の気持ちを理解しやすくなる技術である。
- ② フィードバックの技法とは、利用者本人が問題の核心に近づけて考えられるようにするために、利用者から聞いた話をまとめて、内容を確認することである。
- ③ ストレングスの視点とは、支援を必要としている人が持っている力を十分に活用する視点のことを指す。
- ④ 「がんばろう」という励ましの言葉は、信頼関係が深まり、利用者本人が問題に向き合える余裕ができてから使用するのが効果的である。
- ⑤ ポジティブシンキングとは、かたよって狭くなった視野を広げ、物事の価値や意味づけを変えるために用いることをいう。

(18) 糖尿病について、(ア)～(エ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑧の中から一つ選べ。解答番号は28。

糖尿病は、(ア)から分泌されるインスリン不足や作用低下で、高血糖が慢性的に続く疾患で、1型糖尿病と2型糖尿病がある。1型糖尿病は自己免疫疾患などが原因であり、インスリンの自己注射が必要である。2型糖尿病は遺伝的要因に食生活の乱れや運動不足などの生活習慣が重なって発症する。

インスリンの作用不足によって、ほとんどすべての(イ)に異常をきたす。進行すると、糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症などの三大合併症を引き起こす。糖尿病性腎症は、進行すると腎臓の機能が失われてしまうため、(ウ)が必要となる場合がある。

治療は基本的に食事療法、運動療法、薬物療法の3つを組合せて行う。食事療法は1日に3回規則正しく、バランスのとれた食事を摂取する。よく噛んで、ゆっくり食べるとよい。運動療法では、有酸素運動を少し汗ばむ程度の運動量で20分以上、週に3～5回、食後1～2時間に行う。薬物療法が行われた場合は(エ)症状に注意が必要である。

|   | (ア) | (イ) | (ウ)   | (エ) |
|---|-----|-----|-------|-----|
| ① | 腎臓  | 代謝系 | 透析治療  | 低血糖 |
| ② | 腎臓  | 神経系 | 放射線治療 | 幻覚  |
| ③ | 腎臓  | 代謝系 | 透析治療  | 幻覚  |
| ④ | 腎臓  | 神経系 | 放射線治療 | 低血糖 |
| ⑤ | 膵臓  | 代謝系 | 透析治療  | 低血糖 |
| ⑥ | 膵臓  | 神経系 | 放射線治療 | 幻覚  |
| ⑦ | 膵臓  | 代謝系 | 透析治療  | 幻覚  |
| ⑧ | 膵臓  | 神経系 | 放射線治療 | 低血糖 |

(19) 福祉用具と介護ロボットに関する記述のうち適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

- ① 介護保険制度における福祉用具は、要介護者等の日常生活の便宜を図るための用具及び要介護者等の機能訓練のための用具である。
- ② 介護保険制度における福祉用具は、原則貸与であるが、移動用リフトのつり具部分は、特定福祉用具の販売対象である。
- ③ 介護保険制度における福祉用具貸与の13品目のうち、「自動排泄<sup>せつ</sup>処理装置」は、要支援1・2、要介護1・2・3の人は、原則保険給付の対象とならない。
- ④ 介護ロボットとは、ロボット技術が応用され、介護現場の生産性向上や利用者の自立支援、介護従事者の負担軽減に役立つ介護機器をいう。
- ⑤ ロボット技術の介護利用における重点分野は、移乗介助、移動支援、排泄<sup>せつ</sup>支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の6つである。

(20) 次の事例から、Aさんの状態に適した杖を使った平地の歩き方として最も適切なものを、次の①～⑧の中から一つ選べ。解答番号は30。

(事例)

Aさん(78歳,女性,要介護2)は、1年前,脳梗塞のため入院,回復期リハビリテーション病院を経て3か月前に介護付き有料老人ホームに入所した。

脳梗塞の後遺症で右上下肢に麻痺が残った。普段の移動は車いすを利用しているが,外出するときには,杖を使用したいと思っている。

- ① 杖(左手で持つ)を出す → 左足を出す → 右足を出す順で歩く
- ② 杖(左手で持つ)を出す → 右足を出す → 左足を出す順で歩く
- ③ 杖(右手で持つ)を出す → 左足を出す → 右足を出す順で歩く
- ④ 杖(右手で持つ)を出す → 右足を出す → 左足を出す順で歩く
- ⑤ 杖(左手で持つ)と左足を出す → 右足を出す順で歩く
- ⑥ 杖(左手で持つ)と右足を出す → 左足を出す順で歩く
- ⑦ 杖(右手で持つ)と左足を出す → 右足を出す順で歩く
- ⑧ 杖(右手で持つ)と右足を出す → 左足を出す順で歩く

令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験  
第1次選考試験 高等学校 福祉

| 解答番号 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 正解   | ①  | ④  | ③  | ⑤  | ②  | ④  | ④  | ⑤  | ④  | ③  |

| 解答番号 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 正解   | ④  | ④  | ⑤  | ⑤  | ②  | ③  | ⑤  | ⑤  | ⑤  | ②  |